

1 目的

- (1) 生徒の学習意欲を高め、「生徒が『できる・わかる』ことを実感できる授業」を展開するため、指導実績のある講師を招き、教師一人一人の力量向上を図ります。
- (2) 生徒のものの見方・考え方を広げ、ルール・マナーを重んじる生徒の育成をめざします。

2 内容

(1) 教師力向上

本年度はQ Uテストを2回実施し、テストの結果を踏まえて2回の研修会を行い、学級経営に生かしました。

- ・ 講師 奥村桂子 先生
- ・ 実施日 6月23日、11月15日

(2) 便教会でのトイレ清掃活動

日本を美しくする会の協力を得て、教師・生徒がトイレ清掃を行いました。ボランティアを募り教師・生徒20名が参加しました。

- ・ 実施日 8月22日

(3) 望ましい生活習慣の確立

学校参観日に、生徒だけでなく保護者にも参加してもらい、モラル情報講演会を行いました。

- ・ 講師 安川雅史 先生（日本カウンセリング 教会）
- ・ 実施日 6月11日

(4) 人権講演会

人権週間に「自分らしさ」「自立」「14歳の壁」をキーワードに、人権を守ることの大切さについて学びました。

- ・ 講師 長谷川修三 先生 ・ 実施日 12月6日



【モラル情報講演会】

3 評価

(1) 教師力向上

今まで年に1回だったQ U指導を2回に増やし、学級の変容をつかみ、生徒の指導をより効果的に行うことができました。

(2) 便教会でのトイレ清掃

教師も生徒も一生懸命にトイレ掃除を行いました。講師の方の人数の関係で参加人数に制限がありましたが、年々、便教会のボランティアに参加しようという意識が高まってきています。

(3) 望ましい生活習慣の確立

画像を見ながらSNSで起こった事件についての説明を受け、少しのことで大きな問題になるという、スマートフォンの恐ろしさを学習しました。

(4) 人権講演会

「相手の自分らしさ」を認めていくことの大切さを学ぶ機会となりました。

4 課題

学校ではSNSの問題がよく起きており、指導に限界を感じています。生徒だけでなく、保護者にも情報モラルの問題をさらに意識してもらう取組が必要だと思います。